



安藤満 小島武夫

第9回麻雀最強戦

プロ最強戦



伊藤優孝



飯田正人

詳報
結果は
巻中から
より



土田浩翔



五十嵐毅



浦田和子



前原雄大



石崎洋



下山道男



吉田幸雄



梶田康介



金子貴行

プロ麻雀最強戦システム図解

12名 + 4名 【本戦】

小島武夫・伊藤優孝
飯田正人・安藤満

21名 + 11名 【第3次予選】

近代麻雀シード
各団体タイトルホルダー

23名 + 25名 【第2次予選】

最高位戦・プロ連盟から10名ずつ
101から5名シード

56名 【第1次予選】

最高位戦・プロ連盟
101から56名参加

プロ麻雀最強戦システム
プロ最強位への厳しい道

【2次予選組】(各団体シード)
各団体推薦の実力者がこぞ登場。
最高位戦・プロ連盟から10名、101
競技連盟より5名、計25名のシード選手選出。
一次予選を通過した23名に加え、
48名を各8名6組のリーグに分け、
各組上位3名+各リーグで得点の高い順に4位を3名、計21名が最終予選へ。(うち2人は繰り上げ)

【3次予選組】(近代麻雀シード+各団体タイトルホルダー)
例年ならプロ本大会で観られる豪華な顔ぶれも今回は3次予選からのスタート。
ここからは近代麻雀シード、各団体タイトルホルダー計11名が登場。2次予選と同じ方式で、4組計32名が本大会出場12名の席を争った。
中でも五十嵐は、5回戦においてそのオりの雀風から想像できない激しい麻雀で観客を驚かせ、最終予選に進出した。

システムを大幅に変更した第9回最強戦。なかでもプロ最強戦はシビアなふるい落としを繰り返すことで、厳格なサバイバルゲームに生まれ変わった。ここにプロ最強位の称号を求めて本大会に出場する選手たちの素顔を、システムとともにふり返る。

第9回プロ麻雀最強戦

【撮影】マクス正木・寺内康

我こそ最強なり!!